令和８年度　第３回浄水地域会議　会議録

■ **日　時**　令和８年７月８日（水）　午後７時　～　８時

■ **場　所**　浄水交流館　大会議室

■ **出席者**

＜委　員＞	内迫　貴光	勝野　房則	上島　益美	桑原　正明
	権藤　國義	竹中　香織	手塚　俊雄	
	土井　英二	長江　光一	野畑　安浩	森　　直哉

＜交流館＞　土井　由利（浄水交流館　館長）

＜事務局＞　板倉　壮吾（地域交流課　副主幹）　渡邊　洋一（地域交流課　担当長）

■ **議事**

地域と若者のつながりづくりに向けた方向性の整理

・前回会議の振り返り

・各世代に期待される地域との関わり、役割の共有

・取組みの深堀り

■ **議事の概要**

地域と若者のつながりづくりに向けて、世代ごとの関わり方・役割の現状について好事例と課題感の共有を行いました。今後の取組みの深堀りを行うキーワードとして「学年・クラス等の同窓会コミュニティ」「部活動等のスポーツ・文化活動」「家族で参加できる活動」が挙げられました。

（主な意見）各世代におけるつながりの現状

世代	好事例	課題感
小学生	◎防災活動や夏祭りで積極的に参加している。ザリガニ釣りもある【伊保原】 ◎防災訓練や健康活動に参加【大清水】	●地域とのつながりがほとんどない。環境美化活動程度。きっかけもない。【向山】【逢妻町】
中学生	◎高齢者宅訪問で精力的に活動してくれている【伊保原】 ◎秋祭りのボランティア、縁日、司会の役割で賑やかにしてくれている【大清水】 ◎夏祭りのボランティアや催事運営に参加【浄水】	●つながりは希薄【向山】【逢妻町】
若者・子育て世代	◎青年会やおやじ会としての関わりがある。こども起点の関連行事では、親子三世代で参加する姿が見られた【浄水町】 ◎友達と誘い合って、祭礼行事に参加している。 ◎二十歳のつどいをきっかけにグループができている。【コミュニティ会議】	●接点づくりが課題【伊保原】 ●家庭をもつまではつながりがない。若者は地域との接点が少ない【大清水】 ●県営住宅が多く、そもそも若年層の居住が少ない。【逢妻町】 ●部活動の地域移行は中京大生や知り合いづてで頼み込んでいる。大学卒業すると

	◎昔は地域のソフトボール大会や運動会が多世代の交流機会になっていた。仲良くなった人と今も関係が続いている。	離れてしまうので、後輩を紹介してねという人海戦術でやりくりしている。【共働本部】
高齢者	◎区民会館での体操等、つながりは強い。高齢者クラブは脱退したが、活動自体は継続している。【伊保原】 ◎寿会を中心に清掃や見守り活動を実施【浄水町】 ◎同好会や敬老会行事の実施【全自治区】	●役員を引き受けてくれる人がいない【全自治区】 ●閉じこもりがちな方への支援や移動販売などの買い物支援が課題【伊保原】

（3）現状から見えてくる関わり方への期待

＜小中学生＞

行事等への参加を通じて地域を知り、地域との関わり方や役割を体験する。

＜若者・子育て世代＞

知人や子どもを起点に参加し、地域との関わりを深めていく。

＜高齢者＞

地域運営を支えるとともに、経験を次世代へ伝え、後押しする。

■ **今後の予定**

令和８年度第４回浄水地域会議

令和８年８月５日（水）午後７時～　浄水交流館大会議室